

令和6年度福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)

【県北地域】活動事例集

私たち、
こんなことやりました！

県北地方振興局管内における令和6年度福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)補助事業者の取組報告です。

福島県県北地方振興局

【令和6年度地域創生総合支援事業(サポート事業)《県北地方》実施事業】

【一般枠】

- 1 acchicocchi ART academy
- 2 創ろう、学生コミュニティ【ダテノワ】
- 3 選奨土木遺産「福島の石橋群」を活用した地域活性化事業
- 4 もとみやロンドンマーケット事業
- 5 桑折の魅力彩発見 集客・販路開拓事業
- 6 地域による学生食堂『-flat lunch- ふらっとランチ』事業
- 7 キッズドリームミュージアムプロジェクト
- 8 古関裕而のまち・音楽の祭典:メロディーの継承
(ミュージカル、映画音楽等)
- 9 もとみや SDGs+ゼロカーボンプロジェクト～もっさい～
- 10 Goodジョブ！～持続可能な保原町の為に～

【過疎・中山間地域活性化枠(集落等活性化事業)】

- 11 多様な価値を育む棚田と都市をつなぐ交流プロジェクト
- 12 大波DIYプロジェクト
- 13 住みよい石田づくりプロジェクト
- 14 過疎地域月館ピンチをチャンスに！事業
- 15 屋敷道(フットパス)の再生、里山資源の再考(再興)による地域

【市町村枠】

- 16 福島市街なか活性化事業(福島市)
- 17 地域の魅力体験合宿事業(伊達市)
- 18 デジタル変革推進事業(伊達市)
- 19 未来へつなげる 国際交流都市もとみや発展プロジェクト(本宮市)
- 20 桑折町阿武隈川多目的親水公園利用促進事業(桑折町)
- 21 “ART×国見町”アーティストティックなまちづくり事業(国見町)
- 22 かわまたメタボ改善健康プロジェクト(川俣町)
- 23 オールかわまたで魅力発信！かわまたまるごと体験プロジェクト
(川俣町)
- 24 国際交流を柱とした地域活性化事業(大玉村)
- 25 再生可能エネルギーを核とした農福連携推進プロジェクト(大玉村)

【市町村枠(連携体事業)】

- 26 ふくしま三大鶏振興事業(三島町・川俣町・伊達市)

【市町村枠(健康関連事業)】

- 27 親子スポーツ・健康事業(桑折町)

acchicocchi ART academy

〈一般枠〉

【実施団体】 acchicocchi community association(桑折町)

【事業内容】 県北地方を中心とした地域住民へ向けてアート事業を実施し、福島のような素材を活かしながら桑折町の潜在的な魅力にふれることのできる制作体験を開催した。文化や芸術を自由に愉しみ、心豊かに自然体で過ごせる機会や環境の創出を目指してきた。また、参加者自身が桑折町及び福島県の文化や歴史、自然、食に親しむことができるよう努め、文化振興や地域振興への意識の向上や個人及び地域単位での文化的価値観の形成を図ることを目的としている。

◆福島(県北地方)の魅力をたっぷり詰め込んだ文化及び芸術振興事業(参加者による作品制作)を全5回実施

- ①大堀相馬焼職人・家具職人「プラスターアート」②会津喜多方漆器職人・写真家「ストーンアート、芸術写真」
③油彩及び水彩画家・音楽家「水彩画、クラシック音楽と絵画の融合」④上川崎和紙職人・伊達染め研究家「和紙染め」
⑤ローフード研究家「ロースイーツ」 ※主催者「テクスチャーアート、スカルプチャーアート、芸術学(芸術理論)」

◆フライヤーやインスタグラムなどでの広報ツールも「作品」の一つとして芸術性に富んだ内容で発信

◆地域や自治体との連携だけでなく、県内外に在住する芸術分野のプロフェッショナルとともに事業を企画運営

◆芸術を通して地域の自然や食などの魅力も体感してもらえる地域性の高い事業を構築

☆ここが自慢です！☆

県内外の芸術家や伝統工芸職人の皆さん、地域事業者や地域住民の方々、自治体などと連携しながら芸術を通して県北の素材・食・地域性の魅力を発信！

子どもから大人まで幅広い年齢層、宮城や山形などの県外在住者、山陰・九州からの移住者の皆さんがアートアカデミーに参加するために桑折町へ来訪！



新規

創ろう、学生コミュニティ【ダテノワ】

〈 一般枠 〉

【実施団体】 公益社団法人だて青年会議所(福島県伊達市)

【事業内容】 時代が加速度的に変化している近年、学生の不登校、引きこもり、新入社員の早期退職と若者が社会で生きる力を育てていない現状だと考えます。

その生きる力の中で今の時代に大切なものを「主体性」(自らが考え、責任を持ち行動を起こす力)と考え、学生自身が「好きなこと」、「やりたいこと」を実現する団体【ダテノワ】を立ち上げ、地域で活躍する若者を多く輩出します。

- ◆【ダテノワ】勉強会(5月30日実施 高校生120名参加)
- ◆【ダテノワ】事業発表会(10月19日実施 地域の来賓方へダテノワの事業内容を発表しました。)
- ◆ダテじゃない伊達なフェス(11月10日実施 学生自身が事業を考え、運営するフェスティバル)

☆ここが自慢です！☆

○フェス当日の参加学生210名により事業構築できました！

○ダテノワの運営に参加したメンバーが、各種メディアにも取り上げられ、事業を超えて活躍する人財となっています！



令和6年度福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)【県北地域】『私たち、こんなことやりました!』

継続
2年目

選奨土木遺産「福島石橋群」を活用した地域活性化事業

〈一般枠〉

【実施団体】 福島石橋群保存会

【事業内容】 県内外の団体等との連携を図りながら、選奨土木遺産「福島石橋群」の歴史的価値の周知や地域資源としての利活用の機運を醸成する事業を実施することにより、地域間の連携や地域活性化に資することを目的とする。

◆令和6年度 令和5年に発見された旧信夫橋石橋(福島市)遺構の保存及び利活用について、県及び市に要望
令和5年度に実施したシンポジウム記録誌の製作及び配布(現在実施中)

(◆令和5年度 選奨土木遺産認定記念シンポジウム及び現地見学会を開催(11月18日～19日:福島市ほか)
「山形の石橋群」(選奨土木遺産認定)現地視察及び意見交換の実施(10月14日))

☆ここが自慢です! ☆

○事業を通じ、県内外の歴史研究に携わる団体・個人に石橋群の価値をアピールするとともに、連携を深めることができました。

○シンポジウムのWEB配信や、パネルディスカッションへの熊本県パネラーのZOOM参加など、DXを活用した開催を行いました。



現地見学会



シンポジウム (パネルディスカッション)



旧信夫橋遺構に係る要望活動

令和6年度福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)【県北地域】『私たち、こんなことやりました!』

継続
2年目

もとみやロンドンマーケット事業

〈一般枠〉

【実施団体】 本宮市商店街連合会(本宮市)

【事業内容】 地区商店街と昨年完成した阿武隈川右岸堤防の利用促進を目指し、本宮市と英国との交流関係を利活用し、英国文化を取り入れ、市民・商店街双方参加の定期的な多彩なマーケットやイベント実施することで、中心市街地活性化と住民参加型の地域づくりのきっかけづくりを行った。

- ◆MOTOMIYAまちすごろく 2024 の開催(9月7日 本宮市中心商店街)
- ◆ロンドンマーケットの実施(10月12、13日 みずいろ公園 ・ 12月15日 本宮市地域交流センター)
- ◆イギリス横断ウルトラクイズの開催(12月21日 本宮地域交流センター)

☆ここが自慢です！☆

- 事業を通じて、地域内の子供たちが中心商店街の各店舗を知るきっかけを創出し、その後の来店につながった。
- イギリス文化に触れることで、異国文化への見識が深まり、地域住民の多様性が醸成された。
- 子供たちが中心商店街に来ることで、商店街ににぎわいが創出され、市全体の盛り上がりにつながった。



継続
2年目

さいはっけん 桑折の魅力彩発見 集客・販路開拓事業

〈一般枠〉

【実施団体】 桑折町商工会(桑折町)

【事業内容】 地域の魅力と事業者の取り組み等に関する情報を町内外へ広く発信し、「継続的な集客」と「事業者の認知向上・販路開拓」に繋げることを目的とし、昨年度開設した情報発信ネットワーク「こおりサーチちゃんねる」を① インバウンド向けに多言語化対応に改修、② 事業者自らが情報登録・発信する環境づくり、体制づくりを行いました。また、県内のブランド豚に特化した「ふくしまポークフェス in 桑折」を開催することで、地域と事業者のPR及び町内への来訪者増加に向け取り組みました。

- ◆大学生と協力連携して、町内の魅力を発信する動画作成・回遊マップの作成、効果的な情報発信手法の分析
- ◆ポータルサイト「こおりサーチちゃんねる」の多言語化改修
- ◆イベント「ふくしまポークフェス in 桑折」の開催(10月6日 桑折町ふれあい公園 来場者 8,300人)

☆ここが自慢です！☆

○ポータルサイト「こおりサーチちゃんねる」は、登録事業者が『いつでも』鮮度の高い情報を発信できる《情報発信ツール》。

○ブランド豚に特化した「ふくしまポークフェス in 桑折」は、県内外から多くの来場者。出店事業者も定数を超える申し込みがある人気のイベント。



令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）【県北地域】『私たち、こんなことやりました！』

地域による学生食堂「-flat lunch- ふらっとランチ」事業

〈一般枠〉

【実施団体】 街なか活性化研究開発プラットフォーム(福島市)

【事業内容】 中心市街地の短期大学及び大学に所属する学生を対象に、市内飲食店及び就労継続支援B型事業所のワンコインのテイクアウト商品(ランチボックス)の注文を予約管理し、当日集荷して、会場の街なか広場で販売代行する事業です。

また、年一回のイベント「街なかお弁当グランプリ」を行います。

☆ここが自慢です！☆

○市内飲食店及び就労継続支援 B 型事業所が 12 店舗参加！大学と密に連携し、キャンパス内でお弁当を学生さんにお渡ししています。

○令和6年10月に福島駅前広場にて「街なかお弁当グランプリ」を開催しました。

(写真)



(写真)



(写真)



キッズドリームミュージアムプロジェクト～

〈一般枠〉

【実施団体】 一般社団法人もとみや青年会議所(本宮市)

【事業内容】 本宮市を中心とする県内事業者の皆様イベント出展のご協力をいただき、地域のこどもたちにお仕事体験コンテンツとしてイベントにご参加いただくことで、こども達や親世代からの地域企業の認知向上を図りつつ、地域企業へ就職を目指すこどもを増加させ、更には事業者間における交流の創出を図ることを目的としております。本プロジェクトも継続2年目となり、2025年で3年目を迎える予定ですが、公共施設の利用価値を向上させ、本事業以降の民間活動のきっかけを創出することが最終目標となります。

◆イベント出展者募集説明会の開催

◆イベント出展者説明会・交流会の開催

◆キッズドリームミュージアム 2024 イベントの開催

◆イベント結果報告会の開催

☆ここが自慢です！☆

○イベント2日間で延べ6,000名以上のご来場をいただき、158の企業・団体の皆様にご協力をいただきました！

○イベント内容は、スポーツ&アクティビティエリア、体験型ステージプログラム、おいしいフードストリート、働くクルマ乗車体験、リーディングカンパニーブース、ネイチャー&クラフトエリアなど体験型コンテンツ目白押しで開催しました！



継続
3年目

古関裕而のまち・音楽の祭典：メロディーの継承
(ミュージカル、映画音楽等)

〈一般枠〉

【実施団体】 音楽による福島まち造り実行委員会（福島市）

【事業内容】 NHK 連続テレビ小説「エール」が放送され、全国的に周知された福島市名誉市民の天才作曲家・古関裕而の楽曲をオーケストラ曲に編曲して演奏し、「古関裕而のまち・ふくしま」の進展と発展のため、古関裕而の功績をレガシーとして継承する試みです。令和4年度(令和5年2月開催)は古関裕而作曲の校歌を、令和5年度(令和6年2月開催)では、古関裕而作曲の社歌に焦点をあてた演奏会を実施。3年目の令和6年度(令和7年2月開催予定)では、古関裕而作曲のミュージカルや映画音楽を、あらたにオーケストラ編成にして披露する演奏会を予定しています。

- ◆コンサート「古関裕而のまち・音楽の祭典：校歌」（県内小学校4校、中学校4校、高校1校の校歌を演奏）
- ◆コンサート「古関裕而のまち・音楽の祭典：社歌」（ラジオ福島、東邦銀行など10の社歌と2つのグループ歌を演奏）
- ◆コンサート「古関裕而のまち・音楽の祭典：ミュージカル、映画音楽等」（「モスラの歌」、「鐘の鳴る丘」ほか）

☆ここが自慢です！☆

○古関裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」を起用し、地域の優れた芸術文化の再認識と更なる活性化を目指しています

○校歌、社歌ともにまずはピアノ伴奏、次いでオーケストラ伴奏で歌うという、参加学校・企業にとって生涯にまたとない体験を提供しました



令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）【県北地域】『私たち、こんなことやりました！』

継続

3年目

もとみや SDGs+ゼロカーボンプロジェクト ～もっさい～

〈一般枠〉

【実施団体】 もっさいプロジェクト(本宮市)

【事業内容】 本宮市民への SDGs とゼロカーボンに対して意識向上の為の啓蒙活動を行う。

市民と企業が参加出来る環境問題活動を行い、地域活性化を行う。

学生・市民参加促進、環境改善意識と地域技術のマッチングによる地域力の向上を行う。

- ◆ SDGs ワークショップ開催(小学生・高校生・大学生対象のゲーム(かるた))&ゴミ拾い
- ◆ 啓蒙活動イベント「もっさい」開催
- ◆ リサイクルフリーマーケットの開催

☆ここが自慢です！☆

○環境問題かるたを使い、小学生から大学生までゲーム感覚で、現在の環境問題を考えてもらった。

○啓蒙活動イベントを開催し、地域の方々に「環境問題」「電力の大切さ」を知ってもらった。



令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）【県北地域】『私たち、こんなことやりました！』

継続

3年目

Goodジョブ！～持続可能な保原町の為に～

〈一般枠〉

【実施団体】 保原町商工会青年部(伊達市保原町)

【事業内容】 地元企業の技術を体感し、地元企業の魅力を感じることで、若者の地元定住と地元企業への就職の機会を増やすことを目標とするとともに、地元飲食店を地元の人に味わって知っていただくことで、外部への発信の機会を増やし、飲食店の活気を取り戻すことで、地元保原に対する地元愛を醸成することを目的とします。

- ◆保原町の魅力発信のために募集地域を拡大し伊達市内に限らず小学3～6年生、中学1年生を対象に事業を実施
- ◆地元根差している商工業のお仕事(技術)体験と地元飲食店の当日限定弁当を食することで食の魅力発信を行う
- ◆事業当日の様子を当青年部公式 SNS にて情報発信をし、事業及び保原町のPRにつなげる

☆ここが自慢です！☆

○地元を「働く場・思い出の場」としての価値を若いうちから伝えることで、将来の選択時の一つとして「地元」が思い描かれ、

地元への定住や就職を促進するモデルとなることできる。



※写真は昨年の様子(本年度：令和7年1月25日実施予定)

令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）【県北地域】『私たち、こんなことやりました！』

多様な価値を育む棚田と都市をつなぐ交流プロジェクト

〈過疎・中山間地域活性化枠〉

【実施団体】 布沢集落(二本松市)

【事業内容】 国の「つなぐ棚田遺産」に認定された「東和の布沢棚田」の多様な価値を発信し、子どもたちや都市との交流を進めるプロジェクトです。多様な生き物が生息する棚田の生き物観察会とホタル観察会では地元の小学生や大学生、農業体験に来た都市の住民などが歓声をあげました。

秋の布沢棚田の芸術祭では棚田コンサート、棚田ウォーク、案山子コンクールなどに福島大学生、首都圏や地元二本松市などから250人が参加し、交流をしました。また餅つき大会と新米おにぎり、豚汁で棚田の恵みの収穫祭で食の豊かさを発信することができました。

- ◆夏の生き物観察会とホタル観察会(7月6日 布沢ビオトープ周辺)
- ◆布沢棚田の芸術祭(10月26日前夜祭 27日棚田ウォーク、案山子コンクール、棚田コンサート、収穫祭)
- ◆布沢ブックレット「布沢の暮らしと歴史・生き物たち」(発行予定)

☆ここが自慢です！☆

○絶滅危惧種のゲンゴロウ、絶滅危惧種水草のミズオオバコなどが生息する貴重な環境。ハイケボタルを手にとって「わ～うれしい！」

○地元の東和小学校5年生の案山子5組を始め、計27組の案山子が棚田に並びました。夜の棚田のライトアップが幻想的です。



令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）【県北地域】『私たち、こんなことやりました！』

新規

大波DIYプロジェクト

〈過疎・中山間地域活性化枠〉

【実施団体】 大波会(福島市)

【事業内容】 人口減少・過疎化・高齢化が進む中、自助共助の生活スタイルを維持していくために、地域の人々が気軽に集い交流する場をワークショップ形式で学びながら、一緒に作り上げる。地域マネジメントを学ぶ学生と連携し、地域の魅力を再発見する機会とする。

- ◆みんなの場所はみんなで作る～地区住民みんなで作る交流スペース
- ◆10年後の未来&地域力アップ計画
- ◆干し柿で世代をつなぐプログラム

☆ここが自慢です！☆

○事業を通じ、福島学院大学の先生や学生との交流、先進事例の視察ができ、新たな視点を持つことができました！

○小さな力や知恵を集め、自分たちの要望を取り入れた交流スペースが完成しました！



令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）【県北地域】『私たち、こんなことやりました！』

新規

住みよい石田づくりプロジェクト

〈過疎・中山間地域活性化枠〉

【実施団体】 石田ふるさと振興会(伊達市)

【事業内容】 「石田ふるさと宣言」に提唱した「一、子供からお年寄りまで、安心して暮らせる ふるさと石田をつくります。」を具現化するもので、石田地区に住む子どもから高齢者までが、安心して生き生きと元気に暮らすことができる、魅力ある地域づくりに取り組んだ。

◆地域団体が連携し、人・食・農をテーマに「石田マルシェ」を計3回開催した。

◆令和5年3月に閉校となってしまった石田小学校を利用して、「ありがとう石田小学校」を開催した。

☆ここが自慢です！☆

○石田マルシェを継続的に開催し、ふるさとの魅力発信や石田のファン(関係人口)を構築することができた。

○卒業生や地区住民、出身者等が一堂に会し、懐かしい校舎、恩師、級友と交流を深めることができた。



令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）【県北地域】『私たち、こんなことやりました！』

新規

過疎地域月館ピンチをチャンスに！事業

【実施団体】 ツキラボ(伊達市(月館町))

〈過疎・中山間地域活性化枠〉

【事業内容】 伊達市で最も高齢化率の高い月館町において、次の時代へバトンを渡し、楽しく住み続けていくために次世代の人材育成と生業の継続のための事業を実施する。具体的なアプローチは以下のとおり。

- ・地域課題の意見調査会
- ・地場産業振興マルシェ(つきだてマルシェ)の開催
- ・農の魅力再発見活動(大学生交流)
- ・リノベ廃校の利用促進検討会

(主な取り組み)

- ◆ 月1開催！東京の大学生受け入れ&地域課題再検討勉強会！
- ◆ 年2開催！新規ファン層獲得！おじさんたちが考えた！つきだてマルシェ！

☆ここが自慢です！☆

- お金をかけずに時間をかけて！口コミ、SNS、チラシの広報戦術で集客ガッチリ！
- リピーターから次世代へ！引き継がれるバトン、大学生の継続交流！



令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）【県北地域】『私たち、こんなことやりました！』

屋敷道(フットパス)の再生、里山資源の再考(再興)による地域活性化事業

〈過疎・中山間地域活性化枠〉

【実施団体】 北戸沢保全会(二本松市)

【事業内容】 現在は使われなくなった屋敷道(フットパス)を再生するとともに、その持続的な利活用のため、屋敷道に付随して存する里山資源の資源化(薪、炭等)の手法を確立と耕作放棄地への新規作物の試験導入、それらを通じた地域間交流に取り組み、地域活性化を目指します。

- ◆ 大学生と連携した地元住民からの聞き取り、交流会の実施
- ◆ 耕作放棄地を再生し、新規作物(ホップ)の試験栽培の実施
- ◆ 里山資源の利活用についての研究

☆ここが自慢です！☆

- 「大学生と集落の協働による地域活性化事業」を活用し、大学生(福島大学岩崎研究室)の発案、協働により事業を実施しています。
- 古道の整備だけでなく付属する農地、農林地の再生、有効活用も目指しています。

現地調査



大学生と地域住民の交流会



聞き取り調査



新規作物試験栽培準備(支柱立て)



継続

2 年目

福島市街なか活性化事業

〈市町村枠〉

【実施団体】 福島市

【事業内容】 街なか賑わいの創出とさらなる活性化を図るため、開催日を「まちなかこどもの日」と位置付け、福島駅前通り、まちなか広場等において、ミニ遊園地などの子どもや親子連れを主な対象としたイベントを、商店街等との連携を図り開催し、街なか全体で子どもたちをおもてなした。

◆街なかテーマパークの開催(キッズコンテンツ、ステージショー、ワークショップ、フードコンテンツ)

◆街なかみんなでおもてなし(商店街の協力店舗による限定お子様ランチの提供、スタンプラリー)

☆ここが自慢です！☆

○街なかでロードトレインが走ったり、鯉のぼりが展示されたりと、街なか巨大なテーマパークに様変わりしました。

○開催日限定のお子様ランチの提供、スタンプラリーによる街なかの周回、各店舗での風船配布など、商店街と連携することで、継続的に街なかに来るきっかけづくりができました。



令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）【県北地域】『私たち、こんなことやりました！』

新規

地域の魅力体験合宿事業

〈市町村枠〉

【実施団体】 伊達市

【事業内容】 伊達市の小学5年生を対象に、登下校を含む簡易宿泊所での衣食住の日常生活を共同で送る機会を提供し、自立心や自主性を育むことを目的として実施するものです。

- ◆伊達市の旬の野菜・くだものを知り、地域の特産品や食の大切さを知るきっかけとする
- ◆2泊3日の通学合宿体験活動により、共同生活を体験する機会を提供
- ◆市内小学5年生を対象に年17回開催

☆ここが自慢です！☆

○2泊3日、親、学校の先生のいない中で、自分で衣食住を体験することで自主性や社会性の養成につながった。

○こどもたちと地域のボランティア活動の方が、地元の食材を使い一緒に調理や交流することで、世代間交流や地元特産品に関する理解を深めてもらうことができた。



継続
3年目

デジタル変革推進事業

〈市町村枠〉

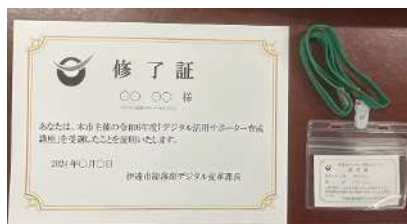
【実施団体】 伊達市

【事業内容】 誰もがデジタル化によるメリットを享受できる地域社会の構築に向け、地域内での ICT に精通した人材を育成するための「デジタル活用サポーター育成講座」、高齢者などのデジタルが不慣れな方を対象とした「スマホ教室」、市内のサポーターを主体とした「デジタル活用サポータースマホ相談会」を実施。

- ◆9月、12月に、デジタル活用サポーター育成講座を2回開催。(計16人をサポーター認定)
- ◆11月～翌2月に、スマホ教室を市内5地域で開催。(各地域で3～4回ずつ実施)
- ◆12月、翌2月にデジタル活用サポーターを主体としたスマホ相談会を2回開催。

☆ここが自慢です！☆

- デジタル活用サポーター育成講座では、より実践的なスキルを身に付けられるようロールプレイングなど実際の相談を想定した内容で開催しました。
- これまで開催してきたスマホ教室の中で好評だった内容を中心に構成し、地域の方々が参加しやすいよう5地域に分けてスマホ教室を実施しました。
- スマホ相談会ではデジタル活用サポーターがスマホに不慣れな方の相談対応を行い、相談者の大半の方が「満足した」と回答いただける結果となりました。また、相談会で得た経験や反省点をサポーター同士で共有しながら更なるスキルアップを図る『サポーターフォローアップ研修』も実施します。



▲デジタル活用サポーター育成講座の修了証と認定書



▲スマホ教室の様子



▲サポータースマホ相談会の様子

令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）【県北地域】『私たち、こんなことやりました！』

新規

未来へつなげる 国際交流都市もとみや発展プロジェクト

〈市町村枠〉

【実施団体】 本宮市

【事業内容】 本市と関係の深い英国との絆を生かした『国際交流』を起点として、子どもたちの視野を広げていく。
児童生徒の自発的・積極的に行動する「生きる力」を育成し、国際交流都市として教育環境の発展を図る。

- ◆国際交流推進→ 市内中学生を英国に派遣し、親善活動や現地生徒との交流事業を実施
- ◆国際理解促進→ 市内小中学校で国際理解講演会を実施、英会話フリートークルームの開設、小学校低学年を対象とした英会話・英国文化紹介講座を実施

☆ここが自慢です！☆

- 「未来へつなげるもとみや英国訪問団 2024」を結成。市内中学生が英国の関係機関を訪問し、親善活動を行いました。英国ダヴェナント・ファウンデーション・スクールやカーディナル・ヴォーン・メモリアル・スクールでは、現地生徒と日本文化を通して交流を行いました。また、本市と友好協定を締結したケンジントン&チェルシー王室特別区において祝賀パーティーを開催し、英国の方に本宮市や福島県の魅力をPRしました。中学生たちは様々な体験を通して、国際的な価値観を学ぶとともに、自らの可能性に大きな気づきを得ました。
- 市内小中学校では、世界情勢や英国文化を学ぶ「国際理解講演会」を行い、他国の生活や社会について知識を深めました。
- 小学校低学年を対象とした英会話・英国文化紹介講座を開催し、参加児童は保護者と一緒に、英語や海外への関心を高めました。



令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）【県北地域】『私たち、こんなことやりました！』

桑折町阿武隈川多目的親水公園利用促進事業

〈市町村枠〉

【実施団体】 桑折町

【事業内容】 「桑折地区かわまちづくり計画」に基づき「まちとかわ」の回遊性の創出をコンセプトとし、桑折町阿武隈川多目的親水公園「ピーチリパーク 157」を会場に、アウトドア志向の若者をターゲットとした体験型イベントを開催することで、当公園の魅力発信を図る。

◆令和6年度 サイクリングロードを活用したイベントとの同時開催 アウトドア体験
(まき割り、火起こし、釣り、カヌー体験)

(◆令和5年度 公園のオープニングイベントの開催 オープニングセレモニー、アウトドア用品展示、
「まちとかわ」の回遊性を創出する周遊イベントを開催
町なか→桃畑→会場までを周遊するウォーキングスタンプラリー、BBQ イベント、体験コーナー)

☆ここが自慢です！☆

○アウトドア施設としての多目的な活用方法やサイクリングルートエリアとしての回遊性について、魅力を発信しました！

○桑折かわまち協議会と協力しながら、公園を活用した様々なイベントを定期的で開催していく予定です。



令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）【県北地域】『私たち、こんなことやりました！』

新規

“ART×国見町”アーティスティックなまちづくり事業

〈市町村枠〉

【実施団体】 国見町

【事業内容】 ART と国見町を掛け合わせた“ART×国見町”をテーマにした芸術祭を開催。町内外からさまざまな分野のアーティストを招き、町内の4エリアで作品展示や演劇の上演、ワークショップなどを行った。また、県内外から多数の飲食店やカフェ、雑貨店などを招いたマルシェも同時開催した。

町の公式 Instagram アカウントと地域おこし協力隊と連携し“地域での丁寧な暮らし”をテーマに、SNS で通年にわたり国見町でのリアルな生活を配信。芸術祭の告知のほか、町のイベントや行事等も定期的に配信した。

◆10月13日・14日の2日間にわたり、町内の4エリアで「盆地と里の芸術祭」を開催

◆国見町公式 Instagram アカウント内で、地域おこし協力隊による町の生活やイベント等の定期的な配信

☆ここが自慢です！☆

○芸術祭をとおして広く町の PR を行った。また、会場を4エリア設けたことで、来場者の町内回遊と町民との交流の機会を生むことができた。

○通年にわたり国見町での暮らしやイベントなどを SNS で配信することで、町の PR につなげることができた。



令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）【県北地域】『私たち、こんなことやりました！』

継続
2年目

かわまたメタボ改善健康プロジェクト

〈市町村枠〉

【実施団体】 川俣町

【事業内容】 町民が楽しみながら健康増進を図り、結果としてメタボ改善につながるイベント等を開催した。

具体的には、川俣町の豊かな里山を活用した登山及び減塩についての健康講話を行った「里山トレッキング」、気軽に始められるスポーツを中心に身体を動かしながら成長に大切なカルシウムについての健康講話を行った「里山健康教室」、大人から子どもまで参加でき、自然を満喫しながら歩く「川俣町町民ウォーキング大会」を実施。また、運動目標や食事目標を立てて実践することや社会参加、住民けんしん受診に応じてポイントが貯まる「健康ポイント事業」を行い、健康意識の醸成を図った。

- ◆ 「里山トレッキング」においては、「長寿山・太郎坊山」を里山おもてなし案内人の案内により、縦走登山を行った。「里山健康教室」は、最高のロケーションを有する「峠の森」でヨガ、モルック、スカットボール、乗馬体験を行った。両イベント後は、減塩等の健康講話を行うとともにランチを食べていただき、健康づくりへのきっかけとした。
- ◆ 町広報誌へ健康ポイント事業への記事を掲載し、積極的な参加を呼びかけるとともに、住民けんしんや各種イベント等で積極的なPR活動を行ったことで参加者が12月26日現在で前年比 220%UPしました。

☆ここが自慢です！☆

- 前年度に引き続き人気の高い登山と、手軽に始められるニュースポーツ、中々体験できない乗馬を組み合わせることで参加者が増加した。
- 健康ポイント事業につき、前年度よりもさらに参加者が増加。町民からの評価も高く、継続して実施してほしいとの声が多数。



令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）【県北地域】『私たち、こんなことやりました！』

継続
3年目

オールかわまたで魅力発信！かわまたまるごと体験プロジェクト

〈市町村枠〉

【実施団体】 川俣町

【事業内容】 道の駅かわまたにおいて、本町ならではの食や歴史、文化の魅力発信を目的とし、季節に応じたイベントやワークショップを開催し、町の中心となる道の駅の賑わいを創出し、町全体の活性化を図る。加えて、本町の代表的な地域資源である里山や観光名所を活用したデジタルスタンプラリー事業を開催し、総合的に魅力を発信することで新たな来訪者を獲得し、地域魅力の向上、地域経済の活性化を図ろうというものである。

◆道の駅かわまたイベントの開催

◆里山を活用したデジタルスタンプラリーの開催

☆ここが自慢です！☆

○町の中心となる道の駅にて定期的に催しを行うことで、町全体の賑わい創出、活性化に寄与できました！

○里山や観光名所を活用したデジタルスタンプラリーを開催し、広域的に町の魅力を発信できました！



令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）【県北地域】『私たち、こんなことやりました！』

国際交流を柱とした地域活性化事業

〈市町村枠〉

【実施団体】 大玉村

【事業内容】 大玉村は、世界遺産マチュピチュ遺跡を有するマチュピチュ村と平成27年10月26日に友好都市協定締結したことを契機に、より交流を進めており、令和7年10月26日に節目の10周年を迎える。

10周年を迎えるに当たり、住民の国際交流に対する理解を醸成するため、住民参加型の記念式典等を開催し、国際交流に対する理解を醸成し国際交流人口の増加を図る。

- ◆村民参加型(パネルディスカッション等)の記念式典を開催
- ◆在日ペルー大使館の公邸料理人を招へいし、世界三大美食「ペルー料理教室及び交流会」を開催
- ◆友好都市締結からこれまでの歩みを記したパネル展示 等

☆ここが自慢です！☆

○マチュピチュ村との友好都市協定締結から節目の10年周年に向かって住民が一丸となり事業推進(再認識)が可能となる。

○国際交流に閉鎖的であった村民意識が改革され、ホストファミリーの登録者が増加するなど別事業での国際交流の深化が図られる。



記念式典 (パネルディスカッション)



ペルー料理教室



パネル展示

継続
3年目

再生可能エネルギーを核とした農福連携推進プロジェクト

〈市町村枠〉

【実施団体】 大玉村

【事業内容】 東日本大震災仮設住宅跡地の活用を図るとともに、再生可能エネルギーで発電した電力を利用した施設園芸を障がい者や高齢者の雇用により行う農福連携推進のためのプロジェクトを展開し、本村の復興創生につなげる。令和6年度は、過年度に策定した事業計画のブラッシュアップを図り、事業化に向けた体制構築やスタートアップを進めている。また、再生可能エネルギーや農福連携に対する理解醸成を図るため、住民向けセミナーや再エネ施設の見学会等を開催するとともに、担い手となる人員や事業継続の財源確保を図るため、企業版ふるさと納税のPRを行うなど官民連携によるプロジェクトの展開を図っていく。

- ◆農福連携推進のための事業計画立案
- ◆農福連携セミナー・先進地視察・再エネ施設見学学習会の開催
- ◆「産学官金福連携」による推進体制の整備(プロジェクト検討委員会を設置しての事業検討)

☆ここが自慢です！☆

- 農業生産者や福祉事業所との意見交換や先進地視察などを重ね、地域の実情に即した形での農福連携の実現に向けて検討を進めている。
- 環境・福祉・産業・教育等、他分野にわたる横断的プロジェクトとなるため、多様な主体を巻き込みながら事業を進めている。

産学官連携による検討委員会



再エネ×農業×福祉の先進地視察



小水力発電施設見学学習会



農福連携による農作業受委託のマッチング



企業版ふるさと納税 PR



継続

2年目

ふくしま三大鶏振興事業

〈市町村枠〉

【実施団体】 ふくしま三大鶏振興協議会(三島町、川俣町、伊達市)※事務局 川俣町

【事業内容】 福島県には、会津地鶏(三島町)・川俣シャモ(川俣町)・伊達鶏(伊達市)と3種類のブランド鶏があり、それぞれ県内や首都圏の飲食店や旅館等で扱われている高品質な鶏肉であり、飲食業界でも注目度の高い食材である一方、地元以外の消費者には認知度の低い食材となっている。これまでは、それぞれの自治体単位でのPRや販売促進を行っていたが、所在自治体を始め、生産者及び加工業者等が市町村の枠を超え「ふくしま三大鶏のイベント」を各自治体持ち回りで開催し、ふくしま三大鶏をより多くの方にPRし、今後の販売促進につなげる。

◆第2回ふくしま三大鶏フェス in 川俣町「中央公民館」の開催

◆ふくしま三大鶏振興協議会 PR ポスターの制作

☆ここが自慢です！☆

○市町村の枠を超え「ふくしま三大鶏」をPRすることで、各市町単独で実施していたイベントよりも多くの方が来場され、広域的にふくしま三大鶏の魅力を発信できた！

○ふくしま三大鶏のみならず、各市町が取り組んでいる事業を取り入れ、合わせて各自治体のPRをすることで相乗効果があった！



令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）【県北地域】『私たち、こんなことやりました！』

継続
2年目

親子スポーツ・健康事業

〈市町村枠〉

【実施団体】 桑折町

【事業内容】 子どもたちの体力低下が懸念されることから、すべての子どもたちに身体を動かす機会を提供し、「運動すること」を身近な存在にする。楽しく遊びながら、身体を動かす気持ちよさや楽しさを感じてもらうことを目指す。最終的には、子どもたちの運動意識の向上を図ることで、健康な体づくりにつながることを若いうちに学んでもらい、将来的な健康寿命の延伸を図る。

◆ボール遊び推進事業

◆親子運動教室(予定)

☆ここが自慢です！☆

○オリンピック選手による講演会を開催し、運動・健康への重要性を学ぶとともに、運動習慣への意識付けを高める。

○講演会終了後、小学生を対象に陸上教室を開催。9月開催予定の小学生陸上競技大会での記録アップを図るため、個人の運動能力を上げる。

